

令和3年度 区政運営方針 事業一覧

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
1. 災害への備えを強力的に進めます。	1-1 区本部の強化	総務課 (防災)	区の災害対策本部の機能を補完する南部活動拠点の機能拡充・実行力向上	○大規模災害により区役所庁舎が被災した場合に豊田工業大学内の一部に設置する南部活動拠点に、通信機器の整備を行います。 ○令和3年度以降は、年に1回、災害支援活動を実効性のあるものにするために、南部活動拠点開設訓練等のシミュレーションを、豊田工業大学等と連携し実施します。	拡充	随時	実施	・通信機器の整備 ・タブレット端末2台、デジタルトランシーバー10台購入 ・南部活動拠点開設訓練実施(令和4年2月18日)
1. 災害への備えを強力的に進めます。	1-1 区本部の強化	総務課 (防災)	区内防災関係公所(署)との連携強化	・大規模災害発生時に公所(署)間の速やかな連携を図るため、区災害対策本部における各公所の役割分担や支援体制、区内の災害リスクの検証等について協議する場を設け、情報の共有化に努めます。	継続	随時	実施	・水防訓練(5月)、防災訓練(9月)、図上訓練(令和4年2月)において、各公所の役割分担や支援体制、区内の災害リスクの検証等について協議を実施 ・図上訓練時、関係公署と初めてWEB会議を行い、連携体制を強化
1. 災害への備えを強力的に進めます。	1-1 区本部の強化	保健予防課	医療救護所訓練の実施	・災害時に市立中学校に設置される医療救護所の開設および救護活動等の訓練を医師会と連携して実施します。	継続	下半期	実施	・新型コロナウイルス感染症のため中止

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
1. 災害への備えを強力的に進めます。	1-1 区本部の強化	総務課 (防災)	浸水・土砂災害危険箇所パトロール等の実施	・区内の防災関係公所(署)が合同で水防関連施設の現地確認を行い、水防体制についての理解を深めることで、風水害時に迅速な連携を図ります。 ○浸水や土砂災害発生リスクが高い箇所の現状把握を定期的に行うための合同パトロール等を実施し、平時からの注意喚起や発災時の広報活動などについての検証を行います。	拡充	6月	実施	・天白区内で土砂災害の危険性が予想されている箇所について、浸水・土砂災害危険箇所パトロールを実施(6月4日) ・パトロール結果については、パトロールの参加者だけに留めるのではなく、自治体専用ビジネスチャットを用いて、写真や位置情報、解説を用いて関係者に周知
1. 災害への備えを強力的に進めます。	1-1 区本部の強化	総務課 (防災)	職員防災研修等の実施	・災害発生時に速やかに任務に就くことができるよう、区災害対策本部の開設に必要な各種機器の立ち上げや非常用発電機の電源切り替え操作などを習得するための実践的な研修及び訓練を実施します。 ・大規模災害の発生に備え、区内の防災関係公所(署)と合同で区災害対策本部の運営について図上訓練を実施します。 ・学区ごとに避難所担当職員を定め、避難所の現地確認や地域の防災訓練への参加などを通じて、お互いに顔の見える関係を構築します。	継続	随時	実施	・非常配備説明会実施(5月10日・25日) ・図上訓練実施(令和4年2月18日) ・避難所担当制研修実施(5月20日・24日) ・避難所担当職員が担当避難所を訪問し備蓄物資や避難スペースの確認作業を実施
1. 災害への備えを強力的に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	地域主体の災害対策の支援	・各地域における総合的な防災訓練、避難所開設・運営訓練、避難所運営等に係る学習会などで情報提供や必要なアドバイスを行うことで、地域防災力強化の取組みを支援します。	継続	随時	実施	・天白学区(10月10日) ・高坂学区・相生学区(10月24日) ・大坪学区(令和4年1月16日) ・野並学区(令和4年2月27日) ※新型コロナウイルス感染症のため、複数学区において中止

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
1. 災害への備えを強力に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	「助け合いの仕組みづくり」の推進	・避難行動要支援者(高齢者や障害者など災害時に助けが必要な方々)を地域で支援できるように、個別の説明会の開催により助け合いの仕組みづくりの理念の浸透を図ります。また、事業に着手した学区に対しては、進捗状況を常に把握し、個別支援計画の策定を始め、適宜適切な支援を行います。	継続	随時	実施	・事業説明会実施 ・表山学区(4月10日) ・しまだ学区(8月7日) ・新規協定締結:なし
1. 災害への備えを強力に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	「地区防災カルテ」の策定	・学区ごとに地形や災害リスクなどの地域防災に関する情報を網羅した「地区防災カルテ」の策定を進めることで、それぞれの地域特性を踏まえた住民の自主的・主体的な防災活動の活性化を図ります。	継続	随時	実施	・地区防災カルテ活用促進 ・避難所リーダー研修1回目実施(7月3日) ・防災・減災交流会実施(令和4年1月15日) ・避難行動マップ作成街歩き ・相生学区(7月31日) ・表山学区(11月6日) ・植田南学区(11月21日)
1. 災害への備えを強力に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	地域防災リーダーの育成	・避難所運営の中心となる人材育成のため、講義と実践形式による避難所リーダー養成講座を開催します。 ・避難所リーダー養成講座修了者や地域の防災担当者が情報交換を行う「防災・減災交流会」を開催します。	継続	7月 10月 1月	実施	・避難所リーダー養成講座1回目(自主防災リーダー講習含む)実施(7月3日) ・避難所リーダー養成講座2回目(自主防災リーダー講習含む)実施(11月27、28日) ・防災・減災交流会開催(令和4年1月15日)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
1. 災害への備えを強に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	総合水防訓練、総合防災訓練の実施	・毎年1学区で行われる総合水防訓練を天白中学校で、また、総合防災訓練をしまだ小学校で実施します。訓練実施に際しては、地区防災カルテ(前出)を活用し、地域特性を踏まえた特色ある訓練となるよう実施学区と十分に協議します。 ・両訓練には、コロナ禍における感染症対策等を踏まえた避難所開設運営の要素を取り入れると共に、災害発生時に特別な配慮が必要となる方への対応訓練も実施します。	継続	水防訓練 5月30日 防災訓練 9月5日	実施	・水防訓練実施(5月30日) ・防災訓練実施(9月5日) ※新型コロナウイルス感染症のため、住民参加型訓練は実施なし
1. 災害への備えを強に進めます。	1-2 地域防災力の強化	総務課 (防災)	中学生向け防災学習の実施	・より早い段階から防災への認識を深め、災害時に地域の一員として行動できるよう中学生向けの防災学習を実施します。 ・防災学習では、東海学園大学の学生がファシリテーターとなって行う「避難所運営ゲーム(HUG)」を主なメニューとして用意し、中学生と大学生が共に防災について学べる仕組みづくりを構築します。	継続	随時	実施	・天白中学校【講話】(5月27日) ・御幸山中学校【HUG】(10月8日) ・原中学校【HUG】(11月11日) ・南天白中学校【HUG】(11月12日) ・平針中学校【HUG】(令和4年3月7日) ・久方中学校【講話】(令和4年3月17日) ※植田中学校は新型コロナウイルス感染症のため中止
1. 災害への備えを強に進めます。	1-2 地域防災力の強化	保健予防課	災害時の健康危機管理、食の備え等についての健康教育の実施	・災害時に起こりうる健康危機に対し、感染症予防・心の健康維持・エコミークラス症候群予防・食の備え・お口の健康などの観点から、保健センターで実施する事業や各学区開催のサロン等で専門職が健康教育を行います。 ・発災時に迅速な健康危機管理対応ができるよう、心肺蘇生の方法などの知識の普及啓発に取り組めます。	継続	通年	実施	・避難所リーダー養成講座にて感染予防講話実施(7月3日) ・植田南学区の子育てサロンにて防災ママバッグの紹介及び母親とともに物品の確認を実施(10月) ※新型コロナウイルス感染症のため、多くの子育てサロンの実施中止 ・子どもの事故予防教室にて心肺蘇生術を学ぶ教室を開催(親子9組参加)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
1. 災害への備えを強力的に進めます。	1-2 地域防災力の強化	消防署	家具転倒防止ボランティアの派遣	・大規模地震による被害を軽減することを目的に、自力での家具固定が困難な方を支援するため、家具転倒防止ボランティアを派遣します。	継続	通年	実施	・ボランティア及び市民の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、受付時に家具固定を強く望まれる方のみ支援を実施(3件)
1. 災害への備えを強力的に進めます。	1-2 地域防災力の強化	消防署	自助力向上の促進	・発災時に自分や家族を守る「自助力」の向上をめざして消防職員、消防団員が地域の集会や行事等の場で啓発します。 ・より実践的で、町内会単位の地域に密着した自主防災訓練を消防団とともに実施します。	継続	通年	地域の実情に即した訓練等100件	・学区連絡協議会等へ消防職員が出向き、消防情報や防火・防災に関する講話を実施(延べ学区件数 97学区 参加人数 2120人) ・町内会単位の訓練に消防職員や消防団が参加し、安否確認訓練や防災講話を実施(延べ町内回数 21回 延べ参加人数 534人)
1. 災害への備えを強力的に進めます。	1-2 地域防災力の強化	消防署	戸別訪問による防災用品の配付及び意識啓発	・防災に対する意識を高め、家庭内における「命を守る」ための取組みを推進するため、防災用品を配付するとともに、各世帯を戸別に訪問し、チェック票による防災診断を行います。	継続	通年	実施	・令和3年度戸別訪問対象学区である3学区において戸別訪問を実施(対象学区 天白学区・野並学区・大坪学区)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
1. 災害への備えを強力に進めます。	1-2 地域防災力の強化	消防署	自主防災リーダー講習の実施	・地震や風水害から命を守る行動「自分の命は自分で守る(自助)及び自分達のまちは自分達で守る(共助)」についての知識、行動を身に付けるとともに、自主防災組織の活動の目的や内容を理解するための講習を、広く区民を対象として実施します。	継続	7月	実施	・令和3年度自主防災リーダー講習を区役所主催の避難所リーダー養成講習と合同で開催(第1回7月3日 第2回11月27・28日 参加人数43人)
1. 災害への備えを強力に進めます。	1-2 地域防災力の強化	消防署	高齢者世帯等への防火対策及び啓発	・高齢者の一人暮らし世帯等を訪問し防火・防災についての啓発を行い、防火・防災意識の向上と対策の普及を図ります。 ・大規模物販店等で防火イベントを実施し、高齢者を含め広く区民に防火についての広報啓発を行います。	継続	随時	実施	・新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ感染対策を講じたうえで、天白区東部・西部いきいき支援センターと連携する共同防火指導及び、署が単独で実施する単独防火指導を実施(157世帯) ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ感染対策を講じたうえで、大規模物販店と連携した防火啓発イベントを実施(1回)
2. 犯罪のないまちづくりを進めます。	2-1 地域の自主防犯活動の促進	地域力推進室(推進G)	犯罪発生状況に応じた防犯対策の実施	・警察署はじめ関係機関と連携し、犯罪の発生状況に応じて効果的な防犯対策を実施します。 ・区民まつり、みんなの元気フェスタinてんぱく等の行事会場や街頭で、多発している罪種の被害防止啓発活動を行います。 ・春・夏・秋・年末の年4回実施する生活安全市民運動・県民運動において、警察署はじめ関係機関や地域と一体となって啓発に取り組みます。	継続	通年	実施	・「犯罪抑止対策の天白区版」で定めた重点罪種のうち、多発している特殊詐欺について、被害を防止するため、区内を青パト車で巡回しながら広報・啓発を実施(年末年始を中心に16日間) ・新型コロナウイルスワクチン接種会場での各種犯罪被害防止ポスター掲出(5月～10月、2月～3月) ・自転車盗難防止ツーロックキャンペーン実施(11月、対象約100名) ・区民まつり、みんなの元気フェスタinてんぱくが、新型コロナウイルス感染症のため中止になったことに伴い、啓発活動も中止

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
2. 犯罪の ないまちづ くりを進め ます。	2-1 地 域の自主 防犯活動 の促進	地域力推 進室(推進 G)	特殊詐欺防止対 策の実施	・オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金詐欺など、 手口に応じた被害防止啓発を、高齢者の集まる機 会に実施します。 ・広報なごや、区ウェブサイト、行政情報モニター等 各種媒体を活用した広報及びポスターによる啓発 を行います。	継続	通年	実施	・特殊詐欺被害防止キャンペーン(計3回(12月)、対象約170名) ・区役所玄関で啓発品を配架(計5回(4月、7月、10月、12月、2月):対象約1,150名) ・広報なごや区版での啓発を実施(1回、3月号) ・高齢者の集まるふれあいサロンでの啓発を実施(1回(12月):対象約20名) ・区内で特殊詐欺被害が急増していることを受け、区ウェブサイトのトップページに注意喚起 の記事を掲載(3月)
2. 犯罪の ないまちづ くりを進め ます。	2-1 地 域の自主 防犯活動 の促進	地域力推 進室(推進 G)	住宅対象侵入盗 防止対策の実施	・被害の発生している地域の駅や商業施設等にお いて、被害防止啓発活動を行います。 ・自動車盗難防止の活動とあわせ、住民への窃盗 手口の紹介など啓発活動を行います。	継続	通年	実施	・区役所玄関で啓発品を配架(計4回(4月、7月、12月、2月):対象約680名) ・住宅侵入盗被害防止キャンペーン(1回(11月):対象約20名)実施
2. 犯罪の ないまちづ くりを進め ます。	2-1 地 域の自主 防犯活動 の促進	地域力推 進室(推進 G)	自動車関連窃盗 防止対策の実施	・自動車整備振興会と連携し、ナンバープレート盗 難防止ネジ取り付けキャンペーンを行います。 ・被害の発生している地域や周辺の商業施設等 において、被害防止啓発活動を行います。	継続	10月	実施	・区役所玄関で啓発品を配架(計3回(7月、10月、12月):対象約360名) ・ナンバープレート盗難防止ネジ取り付けキャンペーン実施(計2回(10月、12月):対象約80 名)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
2. 犯罪の ないまちづ くりを進め ます。	2-1 地 域の自主 防犯活動 の促進	地域力推 進室(推進 G)	青色防犯パトロー ル活動の支援	・地域行う青色防犯パトロール車両による活動を支援します。 ・年末の生活安全市民運動の一環として犯罪ゼロ・交通事故死ゼロをめざした青色防犯パトロール出発式「ダブル・オー作戦」を実施します。	継続	6月 12月	実施	・青色防犯パトロール講習会実施(計2回(6月):対象85名) ・毎月20日「青パトの日」パトロール実施(計7回) ・青色防犯パトロール出発式(12月)は、新型コロナウイルス感染症のため中止
3. 交通事 故のない まちづくり を進めます。	3-1 交 通安全啓 発活動の 推進	地域力推 進室(推進 G)	交通事 故 発 生 状 況に応じた交通事 故対策の実施	・毎月10日・20日・30日の「交通事故死ゼロの日」に、事故防止のため、区職員も地域の方とともに街頭で啓発に取り組みます。 ・春・夏・秋・年末の年4回実施する交通安全市民運動・県民運動において、警察署や地域と一体となって啓発に取り組みます。	継続	通年	実施	・サイン板の掲示による啓発活動を実施(1月1回、対象約50名) ・県下一斉大監視を地域、警察等と連携し実施(計4回(4月、7月、9月、12月)) ・ゼロの日運動を実施(計15回)
3. 交通事 故のない まちづくり を進めます。	3-1 交 通安全啓 発活動の 推進	地域力推 進室(推進 G)	高齢者に対する交 通安全啓発	・学区ふれあい給食会など高齢者の集まる機会を活用して啓発を行います。 ・反射材を配付し活用を促します。 ・自転車利用時のヘルメット着用の普及啓発及び自転車損害賠償保険等の加入促進を図ります。	継続	通年	実施	・高齢者にとっての想定外の交通事故を未然に防止することを目的に、「シニアのための交通安全危険予測マップ」を新型コロナウイルスワクチン接種会場(区役所講堂)に掲示 ・区役所玄関で啓発品を配架(11月1回、対象約200名)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
3. 交通事故のないまちづくりを進めます。	3-1 交通安全啓発活動の推進	地域力推進室(推進G)	自転車利用マナーの向上呼び掛け	・区内の高校生や地下鉄駅周辺の自転車利用者を対象とした「自転車安全利用促進キャンペーン」を、行政・地域・学校等が連携して実施します。 ・区内の学校等で交通安全教室を開催し、自転車利用マナーの向上と自転車損害賠償保険等の加入を呼びかけます。	継続	5月 11月	実施	・区役所入口にヘルメット着用マネキンの展示を実施(9月21日～10月1日) ・区内の高校生や地下鉄駅周辺の自転車利用者が多く停車する早朝時間帯に公用車による広報・啓発を実施 ・広報なごや区版での啓発を実施(計2回:5月号、11月号) ・キャンペーン(不特定多数への啓発物の配布)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
3. 交通事故のないまちづくりを進めます。	3-1 交通安全啓発活動の推進	地域力推進室(推進G)	新入学児童に対する交通安全啓発	・新入学児童に対して「かぼっち」をデザインした反射材キーホルダーを配布することにより、交通安全意識の向上を図ります。	継続	4月	実施	・区内17学区の新入学児童に「かぼっち」反射材キーホルダーを配布(4～6月:対象約1,500名)
4. 妊娠期から切れ目なく子育てを支援します。	4-1 妊娠期からの子育て支援	民生子ども課	「すくすく訪問」(赤ちゃん訪問)の実施	・地域の児童委員・主任児童委員が、初めての赤ちゃんが誕生したご家庭を概ね3カ月頃に訪問し、区内の子育て情報の紹介等を行います。	継続	通年	実施	・訪問実績 515世帯527名 (対象世帯 669世帯681名)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-1 妊 娠期から の子育て 支援	民生子ど も課	「すくすくサロン」 (子育てサロン)の 実施	・乳幼児を持つ親とその子が気軽に参加・交流できる よう、各学区で主任児童委員が中心となり、親子 が楽しめる手遊びや紙芝居等を行うほか、保健師 による子育て相談も受けられる「すくすくサロン」を 実施します。	継続	通年	実施	・新型コロナウイルス感染症の影響により、各学区の実情に合わせて中止または人数制限 や内容を変更して実施
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-1 妊 娠期から の子育て 支援	保健予防 課	母子健康手帳発 行時の妊婦面接 の実施	・母子健康手帳発行時(転入者については転入時) に、すべての妊婦の方に面接し、不安を軽減し、安 心して出産・育児に臨めるよう支援します。	継続	通年	実施	母子手帳1,278件交付(面接実施率100%)
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-1 妊 娠期から の子育て 支援	保健予防 課	妊娠期における子 育て支援講座の 開催	・妊婦とその家族を対象とした講座「ニューファミ リーセミナー」を開催します。(内容:講話・交流会・ 妊婦体験ジャケットの着用・沐浴等の体験・妊娠中 の食事の話・試食) ・参加者が安心して子育てに臨めるよう地域の子育 て情報の提供や仲間づくりの支援を行います。	継続	通年	実施	・8回(14日間)実施(参加延人数(妊婦93名、夫12名))

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-1 妊 娠期から の子育て 支援	保健予防 課	乳児期における子 育て支 援 講 座 の 開催	・乳児の保護者を対象に、子どもの発達や健康課 題、保護者の育児困難等に応じた子育て支援の講 座を開催します。	継続	通年	実施	・年5回の計画中3回実施(親子21組参加) ※新型コロナウイルス感染症のため2回中止
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-1 妊 娠期から の子育て 支援	保健予防 課	産科医療機関と連 携した周産期の支 援	・周産期支援の関係機関が、相互の連携を図り、協 力体制を強化し、切れ目ない支援を行います。 ・支援者のスキルアップを図るため、研修会を実施 します。	継続	10月頃	実施	・「コロナ陽性の妊産婦支援について考える」をテーマに開催(12月3日) ・名古屋記念病院院長はじめ5か所の機関が参加 ・各機関からの現状を国と意見交換
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-1 妊 娠期から の子育て 支援	保健予防 課	新生児・乳児期に おける育児支援	・出生報告受理時から産後のうつ予防を啓発すると ともに、保健師等が訪問して相談に応じ、子どもの 成長発達に合わせた保健指導、産後の健康管理、 孤立予防の支援を行います。	継続	通年	実施	訪問件数1,166件 (内訳:未熟児66件、新生児63件、乳児1,037件)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-1 妊 娠期から の子育て 支援	保健予防 課	妊産婦及び乳幼 児における食育の 支援	・妊産婦及び乳幼児の食育を支援するため、成長 段階に応じた各種の教室・講習会等を開催します。	継続	通年	実施	・離乳食教室 9回36名参加(3回中止) ・離乳食幼児食相談 10回19名参加(2回中止) ・幼児食講習会 2回2名参加(3回中止) ・プレマクッキング 1回4名参加(2回中止)
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-1 妊 娠期から の子育て 支援	保健予防 課	ブックスタート事業 の実施	・保健センターの3か月児健診の機会を活用して、 天白図書館のボランティアが絵本の読み聞かせの 実演を行い、読み聞かせを通じた赤ちゃんとのふれ あいの大切さを伝え、家庭で絵本を楽しむきっかけ をつくります。 ・絵本と図書館の紹介をオリジナルバックに入れて プレゼントします。 ・天白区マスコットキャラクター「かぼっち」をデザイ ンした貸出券を図書館にて発行します。	継続	通年	実施	・絵本をオリジナルバックに入れてプレゼント(1,306冊) ※新型コロナウイルス感染症のため、読み聞かせは中止
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-2 子 育てにか かわる関 係団体・機 関の連携 による子 育て支援	民生子ど も課	子育て支援者交 流会の開催	・子育て支援のボランティア団体や主任児童委員、 保育園の保育士等の子育て支援者が、日ごろの活 動の課題や悩みを話しあい、これからの活動の展 開を考える場として交流会を開催します。	継続	2月頃	参加者40 名	・新型コロナウイルス感染症のため中止

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-2 子 育てにか かわる関 係団体・機 関の連携 による子 育て支援	民生子ど も課	児童館における子 育て支援	・子育てへの不安を和らげるため、子育て家庭を対象とする行事や活動を通して親同士のつながりを深め、互いに学び合う機会を作ります。(主な内容:「たのしいリトミック」「絵本であそぼう」「離乳食講座」など) ・エリア支援保育所と連携し、「おひさまルーム」を開催します。 ・主任児童委員と連携し、地域のコミュニティセンターや公園に出向く「移動児童館」を実施します。	継続	通年	実施	・「たのしいリトミック」(12回実施 延77組163名参加 2月・3月中止) ・「絵本であそぼう」(9回実施 延31組65名参加 2月・3月中止) ・「離乳食講座」(3回実施 延16組32名参加 2月中止) ・「おひさまルーム」(11月4日 9組18名参加) ・「移動児童館」(10月29日・3月10日 延38組79名参加) ※2、3月は新型コロナウイルス感染症のため、一部事業を中止
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-2 子 育てにか かわる関 係団体・機 関の連携 による子 育て支援	民生子ど も課	子どもに対する地 域の取り組み支援	・様々な理由で勉強が遅れがちな環境にある子どもに地域団体が主体となって学習の場や居場所を提供します。 ・天白区子ども会連合会と連携しながら、地域の子ども会活動を支援します。	継続	通年	3か所 実施	・様々な理由で勉強が遅れがちな子どもに、地域団体が中心となって実施している学習サポート事業を支援(区内3学区で実施 平針南学区7名29回実施・原学区7名31回実施・山根学区11名34回実施) ・子ども会活動を支援
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-2 子 育てにか かわる関 係団体・機 関の連携 による子 育て支援	民生子ど も課	子育て支援情報 の提供	・区役所に設置した「かぼっち広場」において子育て情報を提供します。 ・エリア支援保育所と連携し、区役所で保育所等への入所説明会を父母共に来庁しやすい日曜日に実施します。 ・保育案内人を区内の子育てサロンや地域子育て支援拠点等へ派遣し、保育所等の情報提供を行います。	継続	・通年 ・年1回 ・5月～9月	実施	・区役所に子育て情報コーナー「かぼっち広場」を設置して、子育てに関する情報提供を実施 ・日曜日の保育所等入所説明会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・保育案内人を区内の子育てサロンや地域子育て支援拠点等に派遣し、保育所等の情報提供を実施(11回)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-2 子 育てにか かわる関 係団体・機 関の連携 による子 育て支援	民生子ど も課	子育て支援活動 の推進＜支援者との 協働事業＞	・保護者が安心して子育てができるよう、天白区や 周辺で子育てを支援している行政機関や民間団体の 情報を掲載した「子ども・子育てお役立ち便利帳」 を発行します。 ・子育て支援情報の提供や親子同士の交流の場と なる 催しを参加者のニーズを踏まえて企画・実施しま す。	継続	・3月 ・年1回	実施	・2022年度版天白区子育て情報誌子ども・子育てお役立ち便利帳発行(3,200部) ・新型コロナウイルス感染症のため、「てんぱく子育てフェア」中止 ・代替事業として、「てんぱくde子育て！スタンプラリー2021」実施(11月～12月)
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-3 児 童虐待防 止	民生子ど も課	なごやこどもサ ポート天白区代表 者会議等の開催	・医師、弁護士等の専門職を含めた関係機関が集 まり、要保護児童の適切な保護を図るために必要 な情報交換、支援の内容に関する協議を行う、代 表者会議を開催します。 ・要保護児童の実態把握、援助方法の確認や検討 を行うため、民生子ども課、保健センター、児童相 談所、なごや子ども応援委員会及び警察署職員が 集まり、実務者会議を開催します。 ・個別のケースにおける要保護児童について、関係 機関の担当者が集まり、具体的な支援の内容等を 検討するサポートチーム会議を開催します。	継続	・年1回 ・月1回 ・随時	児童虐待 による重 大な被害: 0件	・児童虐待による重大な被害:0件 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、代表者会議は書面開催 ・実務者会議開催(毎月) ・サポートチーム会議開催(4回)
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-3 児 童虐待防 止	民生子ど も課	オレンジリボン キャンペーンの実 施	・児童虐待防止推進月間となっている5月と11月 に、「すくすくサロン」や区役所玄関などにて児童虐 待防止の啓発を行います。	継続	5月 11月	児童虐待 による重 大な被害: 0件	・児童虐待による重大な被害:0件 ・児童虐待防止推進月間となっている5月と11月に区役所玄関やすくすくサロンなどで啓発 活動を実施

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-3 児 童虐待防 止	民生子ど も課	子育てに悩む親 向け講座の開催	・育児に不安を感じる親を対象に、子どもとの信頼 関係を築きながら子育てするための具体的な方法 を学べる講座や、親であることを楽しめるよう子育 てのスキルアップを図る講座を開催します。	継続	5月 9月 11月	各1回	・5月「コモンセンス・ペアレンティング」新型コロナウイルス感染症の影響により、中止 ・9月「父親向けイライラしない子育て講座」新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラ イン開催に変更 ・11月「スターペアレンティング」開催
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-3 児 童虐待防 止	民生子ど も課	子育て講演会 の開催	・子育て中の保護者や子育て支援者が、日々の悩 みや不安を解消したり活動に有用なヒントが得られ るよう、知識、スキル等役立つ情報を提供します。	継続	11月	実施	・新型コロナウイルス感染症のため中止
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-4 青 少年健全 育成	地域力推 進室(学習 G)	青少年育成区民 大会の実施	・区民総ぐるみの青少年健全育成活動を盛り上げ るため、学区の活動報告や講演会等を実施しま す。	継続	2月	実施	・新型コロナウイルス感染症のため中止 ・代替として各学区の活動報告及び本年度発表予定であった2学区の発表資料を冊子にま とめ、青少年部会員等へ配布(3月)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-4 青 少年健全 育成	地域力推 進室(学習 G)	青少年すこやか標 語・ポスターの募 集・展示	・標語及びポスターを小中学校及び特別支援学校 の児童生徒から募集するのに加え、広く一般からも 標語を募集し、区役所やイベントで優秀作品を展示 することにより、青少年健全育成の啓発を行いま す。	継続	7月～2月	区内6か所 で展示	・応募総数1,131点(ポスター76点、標語(子ども部門)962点、標語(一般部門)93点) ・入選作品については区内4か所で展示(11月から令和4年1月まで)
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-4 青 少年健全 育成	地域力推 進室(学習 G)	青少年健全育成 キャンペーン事業 の実施	・夏と冬の2回、学区・学校などと連携して、見守り、 声がけによる非行防止等と呼びかける啓発活動を 行います。 ・上記啓発活動にあわせて、商業施設に対して、青 少年の深夜利用等を抑制するよう依頼します。	継続	7月 12月	実施	・青少年健全育成キャンペーンを夏(7月)は相生学区、冬(12月)は野並学区で実施 ・商業施設計7店舗に対し、青少年に対する声かけ等を依頼する要望書を提出
4. 妊娠期 から切れ 目なく子育 てを支援し ます。	4-4 青 少年健全 育成	地域力推 進室(学習 G)	青少年を対象とし た啓発活動	・ネット犯罪や危険ドラッグ等の被害にあわないよ う、関係機関等と連携して、青少年に対する啓発活 動を行います。	継続	随時	実施	・ネット犯罪防止啓発チラシを区内小学校6年生へ配布(配布数約1,400枚)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
5、障害者 が安心して 暮らせるよ う支援しま す。	5-1 障 害者自立 支援活動 の推進	福祉課 (障害)	障害に対する理解 の促進	・障害のある方の生活を地域全体で支えるため、天 白区障害者自立支援連絡協議会と協働で障害に 対する理解の促進を図ります。 ・障害に関連したテーマの映画を上映する「シネマ でみる・ふくし」を開催します。 ・障害福祉関係者を対象に障害福祉に関する研修 会を開催します。	継続	・通年 ・11月 ・5月 9月 2月	実施	・行事「シネマでみる・ふくし」 新型コロナウイルス感染症のため、オンライン開催（令和4年 2月22日から26日、申し込み161名（うち区内14名、市内他区34名）） ・障害福祉事業者等で構成する自立支援連絡協議会定例会の中で研修会を実施（3回） 7月16日 新型コロナワクチン講習会（当初5月予定のところ延期開催） 9月21日 名古屋市の障害者スポーツの取り組みについて いきいき支援センター事業について 令和4年2月15日 性の科学と健康講座
5、障害者 が安心して 暮らせるよ う支援しま す。	5-1 障 害者自立 支援活動 の推進	福祉課 (障害)	障害者の社会参 加の促進	・障害に対する市民の理解を深め、障害者の就労 を支援することを目的として、授産製品を展示・販 売する「マーガレットマルシェ」を区役所1階の「てん ばく情報ひろば」において毎日開設します。 ・各種啓発品等に授産製品を活用したり、販売カタ ログ「天白区の『福』トコロ」を配布することにより、 授産製品のPRに努めます。 ・天白区障害者自立支援連絡協議会が企業、大 学、各種イベントなどにおいて授産製品の展示・販 売を行う「出張マーガレットマルシェ」を支援します。 ・同協議会が実施する天白区在住・在勤で障害の ある方が制作したアート作品を展示する「顔のみえ るアート展てんぱく」を支援します。 ・障害のある方と区職員が区役所敷地内で「くりあ じかぼちゃ」「八事五寸にんじん」を栽培し、地元農 産物の普及に協力します。	継続	・通年 ・通年 ・随時 ・9月 ・随時	実施	・平日毎日、区役所1階「てんぱく情報広場」でマーガレットマルシェを開催 （出店事業所：ほっとはむ、おちゃや、プラスハウス、ワークポート） ・「顔のみえるアート展」をオンライン及びサテライト会場で開催 ・11月1日から12月24日 市公式ウェブサイトにて作品の写真を掲載 ・11月3日から11月15日 地下鉄原駅原ギャラリーにて展示 ・11月16日から20日 福祉課にて展示 ・12月1日から24日 八事駅 カフェ「こねっこ」にて展示 ・令和4年1月18日から2月6日 農業センター農業指導館にて展示 ・企業、大学への出張マーガレットマルシェについては、新型コロナウイルス感染症のため 中止 ・障害者本人と事業所スタッフが、区役所内での「くりあじかぼちゃ」「八事五寸にんじん」の 栽培、収穫に参加
5、障害者 が安心して 暮らせるよ う支援しま す。	5-1 障 害者自立 支援活動 の推進	福祉課 (障害)	障害者差別の解 消	・障害者差別に関する相談について、市障害者差 別相談センター等の関係機関と連携して対応しま す。	継続	随時	実施	・福祉課内に障害者差別解消のちらしを配架し広報

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
5、障害者 が安心して 暮らせるよ う支援しま す。	5-1 障 害者自立 支援活動 の推進	福祉課 (障害)	障 害 者 虐 待 の 防 止	・虐待通報に対し、区障害者基幹相談支援センター や市障害者虐待相談センター等の関係機関と連携 し速やかに対応します。	継続	随時	実施	・障害者虐待の防止について、年間を通じ障害者基幹相談支援センター等関係機関と連携
5、障害者 が安心して 暮らせるよ う支援しま す。	5-1 障 害者自立 支援活動 の推進	土木事務 所	細 口 池 公 園 の 改 修	・開園から35年が経過し、老朽化が進んでいること から、令和3・4年度の2か年で、より多くの人々が憩 い、自然に親しむことができる公園になるよう改修 工事を実施します。 ・地域の意見を踏まえ、障害の有無に関係なく誰もが 楽しめるインクルーシブ(※)な公園づくりを行います。 ※インクルーシブ(inclusive): みんなといっしょに。	新規	～令和 4年度	実施	・1期目の改修工事を実施 ・トイレを誰もが利用しやすい多目的型に建てかえ、車いす利用者も遊べる複合遊具や砂 場を整備
6. 高齢者 がいきいき と暮らせる よう支援し ます。	6-1 高 齢者が地 域で安心し て暮らすた めの支援	福祉課 (ケア)	「わたしの 応 援 ノート」の周知	・高齢期を迎えるにあたり、困りごとが生じる前に準 備を進めるきっかけとしていただくため、「わたしの 応援ノート」を地域の高齢者に周知します。	継続	随時	実施	・「わたしの応援ノート」を地域の高齢者に周知(44名) ・東部 11名 ・社会福祉協議会 30名 ・西部 3名 ・新型コロナウイルス感染症のためイベントに乗じての周知はできなかったが、個別相談の 際に案内

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	「つなぎシート」の活用による民生委員と専門職との連携	・介護サービスを利用している方を支援し、安心して住み慣れた地域で生活できるよう、ケアマネジャーと民生委員が情報を共有するための「つなぎシート」を作成します。	継続	随時	実施	・「つなぎシート」で情報を共有し、民生委員とケアマネジャーの連携を図った。(130件) ・東部 93件 ・西部 37件
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	「みんなの元気フェスタinてんぱく」の開催	・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、健康や介護など様々な情報を提供するとともに、医師会や保健センターはじめ専門職種間や協力団体との連携を深めます。	継続	12月～2月	実施	・新型コロナウイルス感染症のため中止
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	地域支援ネットワークの構築	・行政機関といいきき支援センター(見守り支援員)が連携し、地域の支援者及び多職種による専門職を交えた地域支援ネットワークを構築し、適切なサービスにつながっていない高齢者の見守りや支援を行います。	継続	随時	実施	・高齢者の見守りや支援実施(25名114件) ・東部 15名41件 ・西部 10名73件

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	「かぼっち安心連絡カード」の配布	・75歳以上のひとり暮らし高齢者や地域から孤立する恐れがある方を民生委員や高齢者福祉相談員が訪問した際、かかりつけ医などの情報を記載できる「かぼっち安心連絡カード(緊急時連絡用マグネットシート)」を配布します。	継続	随時	実施	実績なし
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	見守り連携会議の開催	・高齢者の日常のささいな変化に気づく機会を増やし、高齢者を皆で見守る機運を高めるため、見守り協力事業者や関係機関との連携を深めます。	継続	随時	実施	・見守り連携会議の開催(12月22日、関係機関8団体17名)
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-1 高齢者が地域で安心して暮らすための支援	福祉課 (ケア)	在宅医療と介護の連携	・天白区はち丸在宅支援センターによる介護職を始めとする多職種との学習会や、在宅医療・介護に関する市民向けの広報活動を支援します。	継続	下半期	実施	・多職種向け「ACP研修会(フォローアップ編)」 オンライン開催(令和4年2月25日、20名参加)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	福祉課 (ケア)	認知症サポーターの養成・フォローアップ	・認知症に対する正しい理解と知識の普及を図るため、認知症サポーターを養成し、区職員については全員の養成講座受講をめざします。 ・養成したサポーターのスキルアップとその後の活動の場を支援するため、フォローアップ研修を実施します。	継続	通年	実施	・区職員向け認知症サポーター研修開催(3回、18名) ・10月7日 第1回 7名、第2回 5名 ・10月8日 第3回 6名 ・認知症サポーター養成講座(20回、445名) ・東部 13回開催、延べ 169名 ・西部 7回開催、延べ 276名 ・フォローアップ研修(東部西部合同主催)実施(1回、30名)
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	福祉課 (ケア)	はいかい高齢者おかえり支援事業	・はいかい高齢者を早期に発見するため、認知症サポーター養成講座修了者や各種会議の開催の場などで働きかけ、情報発信メールの登録者(おかえり支援サポーター)の増加を図ります。 ・実際に発見した際の声かけや事業の啓発を図るため「はいかい高齢者おかえり支援事業」の模擬訓練を2学区以上で実施します。	継続	通年	実施	・おかえり支援サポーター登録者数:716件(アドレス数) ・「はいかい高齢者おかえり支援事業」の模擬訓練は新型コロナウイルス感染症のため中止
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	福祉課 (ケア)	認知症高齢者を介護する家族支援事業	・認知症高齢者を介護する家族の負担を軽減するため、家族教室や家族サロン、医師の専門相談を実施します。	継続	通年	実施	・21回開催、延べ83名参加 ・東部 10回開催、延べ 63名参加 ・西部 11回開催、延べ 20名参加

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
6. 高齢者が いきいきと暮らせる よう支援します。	6-2 認知症になっ ても安心して暮らせる まちづくりの推進	福祉課 (ケア)	認知症カフェの設 置促進	・認知症本人やご家族、地域住民など誰もが気軽に集い、情報交換ができる拠点として「認知症カフェ」の設置を促進します。	継続	通年	各学区1か 所以上	・「認知症カフェ」を19か所設置(おれんじだよりに一覧を掲載) ・東部 10か所 ・西部 9か所 ・未設置学区 表山、八事東、植田東、植田南、原
6. 高齢者が いきいきと暮らせる よう支援します。	6-2 認知症になっ ても安心して暮らせる まちづくりの推進	福祉課 (ケア)	「認知症の人にやさしい店や事業所」の理解促進事業	○認知症を正しく理解し、認知症の人に対してもやさしく対応している店・事業所を登録店として募ります。登録店を地域の方に知ってもらうことで、認知症の人や家族が安心して生活できる天白区を目指します。	拡充	通年	実施	・「認知症の人にやさしい店や事業所」登録数 37店舗 ・愛知信用金庫 3 ・郵便局 13 ・薬局 10 ・スーパー 1 ・飲食店 5 ・理美容室 1 ・その他 4
6. 高齢者が いきいきと暮らせる よう支援します。	6-2 認知症になっ ても安心して暮らせる まちづくりの推進	福祉課 (ケア)	天白区認知症安心キャラクター「てんまちゃん」を活用した広報	・広報誌「おれんじだより」の発行など、天白区の認知症への取組みを広く周知します。	継続	随時	実施	・おれんじだより発行(10月) ・区政協、民児協、保健環境委員会で案内するとともに関係機関窓口で配布

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	福祉課 (ケア)	高齢者の権利擁護の支援	・判断能力が不十分な認知症の方などを保護・支援するため成年後見制度の利用を促すとともに、親族がいないなどの理由がある場合は市長による申し立てを実施します。	継続	随時	実施	・適宜に対応
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-2 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	福祉課 (ケア)	認知症講演会の実施	・知識の普及を図るため、講演会を開催します。	継続	12月	実施	・新型コロナウイルス感染症のため無観客で講演会を撮影し、まるはっちゅーぶに動画を掲載(令和4年度の認知症講演会終了までの公開)
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-3 高齢者の生きがいがいくりと介護予防の推進	福祉課 (ケア)	高齢者の生きがいくりづくり	・「なごやかクラブ天白」(天白区老人クラブ連合会)の各単位クラブ内で行われている友愛訪問活動によって、高齢者の孤立を防止します。 ・介護予防につながる多様な通いの場となるようサロンの運営を支援します。 ・「なごやかクラブ天白」の活動を活性化するため、区役所での掲示や、区民まつりなど様々な機会をとらえて活動の内容を広報するとともに、名古屋市老人クラブ連合会の会員増強計画と連携して会員の増加に努めます。	継続	随時	実施	・友愛訪問活動を実施(25クラブ) ・サロンを開催(5か所) ・「なごやかクラブ天白」の紹介写真や案内等を庁舎内に掲示 ・広報なごや令和4年2月号に紹介記事を掲載

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-3 高齢者の生きがいがいくつりと介護予防の推進	福祉課 (ケア)	健康づくり(介護予防)の推進	・認知症への取り組みや健康づくりの紹介映像、認知症予防や健康づくりのリーフレットを活用し、健康づくりの周知を進めます。	継続	通年	実施	・「てんぱくお口の体操」の実技指導 ・保健師により実施(延べ133名) ・てんぱく健康づくり隊により実施(延べ3,787名)
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-3 高齢者の生きがいがいくつりと介護予防の推進	福祉課 (ケア)	健康づくり活動の支援	・講演会や区民まつりでのPR等を通じ、健康づくりのためのきっかけづくりを支援します。 ・地域の健康づくりボランティアグループ「てんぱく健康づくり隊」を支援します。	継続	通年	実施	・定例会2回実施 ・プロモーションビデオを作成し、区ホームページ、まるはっちゅーぶに掲載予定
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-3 高齢者の生きがいがいくつりと介護予防の推進	福祉課 (ケア)	社会福祉協議会における「地域支えあい事業」の推進	・高齢者をはじめ生活にお困りごとがあるすべての方を対象に、ちょっとした生活支援ができるような住民同士の支えあいの仕組み作りを支援します。	継続	通年	実施	・相談窓口は閉鎖し、電話対応を実施

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-3 高齢者の生きがいがづくりと介護予防の推進	福祉課 (ケア)	「てんぱくヘルスカレッジ」の開催	・高齢者を対象に区内の複数の会場で、認知症予防、口腔衛生、栄養、運動等について学ぶ教室「てんぱくヘルスカレッジ」を開催します。	継続	通年	実施	・「繰り返し農業センター」開催(2回) 4月14日、6名 4月20日、4名 ・「始めよう！誰でもできる健康体操」開催 11月30日、19名
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-3 高齢者の生きがいがづくりと介護予防の推進	福祉課 (ケア)	福祉会館における充実したシニアライフの支援	・60歳以上の方を対象に、「健康づくり」、「教養を深める」、「趣味を楽しむ」など、様々な目的の講座を開催するほか、孤独感や悩み事などの日常生活の相談を行います。また、福祉電話相談で、独居老人の安否確認や話し相手になるボランティアグループの活動を支援します。 ・認知症予防リーダー養成講座を受講し、社会貢献活動への参加意欲のあるリーダーを地域の高齢者サロン等へ派遣します。	継続	通年	「新しい生活様式」に対応した6講座を新設	・認知症予防教室通年開催(延べ30名/年) ・認知症予防リーダー養成講座 ・7～8月コース(受講者:5名、登録者:4名) ・11月～12月コース(受講者:3名、登録者:2名) ・3月コース(受講者:2名、登録者:2名)
6. 高齢者がいきいきと暮らせるよう支援します。	6-3 高齢者の生きがいがづくりと介護予防の推進	保健予防課・福祉課 (ケア)	豊かな自然を活かしたコロナ禍における高齢者健康づくり	・コロナ禍での自粛生活による閉じこもりや交流機会の減少で、要介護リスクの増大など高齢者の健康リスク増大が懸念されることから、天白区の特性である豊かな自然を活かし、高齢者が一歩でも外に出かけるきっかけをつくり、健康づくりを推進します。	新規	下半期	実施	・天白プロムナードを歩こう～自然を感じて仲間と健康づくり～(天白生涯学習センター共催) ・令和4年1月21日、1月28日、2月4日(※)、2月18日(※)、2月25日(※)開催(※)現地学習 ・各回17名程度参加

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-1 天 白の魅力 発信	地域力推 進室(企画 G)	自然観察会等の 実施	・天白区の貴重な自然を守り育て、次世代に残すた めに、区内の自然をフィールドとする市民グループ8 団体と関係行政機関で構成する連携組織「天白・も りのフォーラム」において、引き続き情報交換・交流 を行います。 (構成団体) 相生山緑地オアシスの森くらぶ、相生山緑地自 然観察会、白玉星草とハドトンボを守る島田湿地 の会、天白・川辺の楽校、てんばくプレーパークの 会、東山自然観察会、天白公園整備クラブ、荒池 ふるさとクラブ、天白区役所、天白土木事務所、天 白生涯学習センター ・相生山緑地、荒池緑地、天白川、天白公園、島田 緑地、東山の森といった身近な自然をフィールドと して、「天白・自然とふれあい隊！」と題した自然観 察会や自然体験会を実施します。	継続	5月～11月	参加者ア ンケートで 「よかった」 と回答した 人の 割合： 100%	・年8回の自然観察会等の内、6回実施(新型コロナウイルス感染症のため2回中止) 延べ147名(51組)参加、アンケートで「よかった」と回答した人の割合：100%(総数49組) 【中止】 ①「そっと観察しよう～ヒメボタル～」(5月14日、相生山緑地オアシスの森) ②「東山の森で地質探検！」(6月5日、東山公園周辺) 【実施】 ③「池や湿地・雑木林に暮らしている生きものを探してみよう」 (7月26日、島田緑地自然生態園、17名(7組)、アンケート「良」と回答 7/7組) ④「竹水鉄砲を作り、飛ばして遊ぼう」 (7月29日、天白公園、12名(5組)、アンケート「良」と回答 5/5組) ⑤「川の生き物を観察しよう」 (8月1日、天白川「天白小橋」下流左岸、50名(18組)、アンケート「良」と回答 17/17組) ⑥「里山の水田で稲刈り体験」 (10月9日、荒池緑地、29名(10組)、アンケート「良」と回答 9/9組) ⑦「チョウやカマキリをさがそう！旅するチョウ“アサギマダラ”に出会えるかも！」 (10月16日、相生山緑地、14名(4組)、アンケート「良」と回答 4/4組) ⑧「竹林の除伐体験と竹炭焼きの準備」 (11月27日、相生山緑地、25名(7組)、アンケート「良」と回答 7/7組)
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-1 天 白の魅力 発信	地域力推 進室(企画 G)	史跡散策路の紹 介	・区内の歴史・自然等、広く地域の魅力を発掘して 多くの区民に伝える活動をしている市民グループ 「天白ガイドボランティア歴遊会」と協働で、区内の 史跡を巡る「史跡散策ウオーキング」を実施します。 ・史跡散策路等の案内を希望する団体や個人グ ループからの依頼を受け、歴遊会によるガイドを行 います。	継続	5月 11月	参加者ア ンケートで 「よかった」 と回答した 人の 割合： 100%	・年2回の史跡散策ウオーキングの内、1回実施(春は新型コロナウイルス感染症のため中 止) 28人名参加、アンケートで「よかった」と回答した人の割合：100%(総数26名) 【中止】 「春の史跡散策ウオーキング」5月8日 【実施】 「秋の史跡散策ウオーキング」 (11月13日、28名、アンケート「良」と回答 26/26名) ・定例会議 7回実施(6月・7月・9月・10月・11月・12月・3月) ※新型コロナウイルス感染症のため5回中止(4月・5月・8月・1月・2月)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-1 天 白の魅力 発信	総務課 (庶務)	天白の「農」を楽し むプロジェクト	・受講者が天白区の特産野菜を「学び、育て、味わう」ことを通じて天白区の「農」を楽しむ講座を農業センター、天白生涯学習センターと共同で開催します。 ・区役所敷地内で、天白区特産野菜である「くりあじかぼちゃ」、「八事五寸にんじん」、「セイロン瓜」を栽培、展示するなど特産野菜の普及啓発を図ります。 ・区内の朝市・直売所をPRし、地産地消の推進を図ります。 ・農家の意欲向上を図り、区内の農業の成果を区民に周知するため、地元農産物を展示し、併せて優秀な農産物等を出品した農家を表彰する「農産物品評会」を実施します。 ・「農」のもたらず豊かな恵みを味わっていただくため、農家自ら栽培した野菜等を自主販売する新鮮朝市や、区内で収穫された農産物を使った模擬店の出店を行う「農業まつり」を実施します。	継続	5月～12月	区民アンケートにおける認知度 「八事五寸にんじん」：65%以上 「くりあじかぼちゃ」：40%以上 「セイロン瓜」：30%以上	<区民アンケートにおける認知度> 八事五寸にんじん 54.3%(2年度52.8%) くりあじかぼちゃ 33.8%(2年度29.9%) セイロン瓜 16.7%(2年度15.5%) ・八事五寸にんじん体験教室(8月～12月、2回連続講座：第1回11名参加、第2回16名参加) ・でらうま!なごや産の野菜講座(8月～9月、4回連続講座(3～4回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)：第1回21名参加、第2回11名参加) ・区役所敷地内で、くりあじかぼちゃ・八事五寸にんじん・セイロン瓜を栽培・展示 ・区内の朝市・直売所を「農業まつり」(12月)においてPR ・「農産物品評会」・「農業まつり」を開催(12月) ※模擬店の出店については新型コロナウイルス感染症のため取りやめ
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-1 天 白の魅力 発信	企画経理 室	天白区にまつわる なつかしい写真活 用事業	・区民から提供を受けた天白区の移り変わりを感じさせるなつかしい写真を活用し、歴史を通じて区の魅力を発信します。 ・地域行事での展示や、認知症予防として注目されている「回想法」などに活用できるよう、写真パネルを貸し出します。 ・庁舎内への掲出や区ウェブサイトへの掲載を行います。 ・天白区オリジナル名刺のデザインに古写真を活用します。 ○区民に協力いただき、今昔写真の収集に努めます。	拡充	通年	貸し出し15 件 延べ320枚	・貸し出し件数(7件7枚) ・庁舎内で4枚展示(区役所3階通路、中央階段2・3階踊り場、東側階段2・3階踊り場壁面掲示板) ・区ウェブサイト写真パネル全179枚を掲載(通年) ・天白区オリジナル名刺の裏面に古写真を印刷し、区政協力委員長等の地域の役員の方や、区職員が使用 ・「なつかしの写真クイズ」を広報なごや天白区版にて掲載(5月号、令和4年2月号、令和4年3月号(2月号の答えを掲載))

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-1 天 白の魅力 発信	地域力推 進室(企画 G)	豊かな自然を活か したコロナ禍にお ける高齢者健康づ くり	・コロナ禍での自粛生活による閉じこもりや交流機 会の減少で、要介護リスクの増大など高齢者の健 康リスク増大が懸念されることから、天白区の特性 である豊かな自然を活かし、高齢者が一歩でも外 に出かけるきっかけをつくり、健康づくりを推進しま す。 【再掲(施策6参照)】	新規	下半期	実施	・散歩道「天白プロムナード」のリーフレット作成 ・初版 25,000部作成(9月)、第2版 25,000部(1月) ・区役所等での配架のほか地域での回覧や高齢者宅訪問で活用(延べ20,000部超配布) ・散歩道「天白プロムナード」の紹介動画作成 ・1月配信開始(視聴回数1,000回超) ・名刺サイズ周知用カード作成(40,000枚) ・各種広報実施 ・広報なごや区版(1月号)、はぴナビなごや(10月8日、令和4年2月11日発行) ・市政広報テレビ番組「おもてなし隊なごや」(令和4年2月21日放送) ・名古屋フリモ天白版(令和4年3月号56,350部発行)
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-1 天 白の魅力 発信	土木事務 所	細口池公園の改 修	・開園から35年が経過し、老朽化が進んでいること から、令和3・4年度の2か年で、より多くの人が憩 い、自然に親しむことができる公園になるよう改修 工事を実施します。 ・地域の意見を踏まえ、障害の有無に関係なく誰も が楽しめるインクルーシブ(※)な公園づくりを行いま す。 ※インクルーシブ(inclusive): みんなといっしょに。 【再掲(施策5参照)】	新規	～令和 4年度	実施	・1期目の改修工事を実施 ・トイレを誰もが利用しやすい多目的型に建てかえ、車いす利用者も遊べる複合遊具や砂 場を整備
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-2 文 化・スポー ツの推進	地域力推 進室(学習 G)	てんぱく音楽祭の 開催	・区民の音楽への関心と意欲を高めるため、区民 に音楽演奏の場と質の高い音楽に触れる機会を提 供します。 ・学生が音楽祭をプロデュースすることで、既存の 枠にとらわれず自由な発想で若者を中心に多世代 が参加する音楽祭の実現をめざします。	継続	1月	実施	・新型コロナウイルス感染症のため中止

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-2 文 化・スポー ツの推進	地域力推 進室(学習 G)	天白区美術展・華 道展の開催	・区民の美術への関心と意欲を高めるため、天白 区美術展を開催します。その中で区民鑑賞会を開 催し、審査員による作品解説を通して、区民の美術 への理解を深めます。 ・区民が華道に触れ合う機会として、華道クラブと の共催で春と秋に華道展を開催します。	継続	美術展 10月 華道展 5月 10月	実施	・新型コロナウイルス感染症のため中止
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-2 文 化・スポー ツの推進	地域力推 進室(学習 G)	地域スポーツの振 興	・スポーツ団体との協働により各種スポーツ大会を 開催します。 ・地域スポーツ団体の活動を支援します。	継続	随時	スポーツ 大会の主 催・後援 17大会	・主催3大会(女性ソフトボール大会、学区対抗ソフトボール大会、春のパドミントン大会)、 後援1大会(軟式野球大会)開催 ※その他の主催・後援13大会は、新型コロナウイルス感染症のため中止
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-2 文 化・スポー ツの推進	地域力推 進室(学習 G)	てんぱく親子ス ポーツフェスタの 開催	・各種スポーツ団体等と連携し、親子で参加できる スポーツ体験イベントを開催することで、成長期の 児童がスポーツを始めるきっかけづくりと地域ス ポーツの振興を図ります。 ・スポーツ推進委員との共催で子どものスポーツに 対する関心を高めるための「子ども向け運動教室」 を開催し、体力の向上と運動を通じたコミュニケー ション能力の発達を促します。	継続	12月	実施	・12月5日開催(延べ140名参加) ・新型コロナウイルス感染対策として、例年の地域スポーツ団体によるスポーツ体験を行わ ず、小学生対象に事前申込制として、道具の共有がない運動教室(かけっこ・なわとび)を 実施

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-3 天 白区のPR 活動	企画経理 室	天白区のPR活動 の推進	・職員や区政協力委員、民生委員・児童委員、保健 環境委員が「かぼっち」をプリントした「オリジナル名 刺」を使用することによりマスコットキャラクターの地 域での浸透を図ります。	継続	通年	実施	・天白区マスコットキャラクター「かぼっち」を印刷したオリジナル名刺の使用について、4月 の区政協力委員長会議で案内し、区政協力委員長等の地域の役員の方で希望される方に 名刺を提供するとともに、区職員が使用 ・地域役員分(30人分、700枚作成) ・区職員分(2,050枚作成)
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-3 天 白区のPR 活動	市民課	天白区のPR活動 の推進	・人生の節目となる出来事が印象深いものとなるよう、「かぼっち」等をデザインした「オリジナル婚姻 届」及び「オリジナル出生届」を作成します。 ・婚姻届の提出などを思い出として残せるよう、記 念撮影ができるスポットとして区役所1階に「かぼ っち」等をデザインした「メモリアルボード」を設置しま す。	継続	通年	実施	・「かぼっち」をデザインした「オリジナル婚姻届」及び「オリジナル出生届」を区役所で配布 するとともに、天白区ウェブサイトでもダウンロードサービスを実施 ・婚姻届などの届出時に記念撮影できるよう区役所1階に「かぼっち」をデザインした「メモリ アルボード」を設置
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-3 天 白区のPR 活動	地域力推 進室(推進 G)	天白区のPR活動 の推進	・イベントや啓発、案内等の様々な機会に、「かぼ っち」や区のシンボルマーク、区のキャッチフレーズロ ゴ等を活用することで、区をPRします。 ・多様なキャラクターグッズを作成し、行事参加者や 区事業への協力者に記念品等として贈ります。 ・区民まつりをはじめとした、各種交通安全・防犯 キャンペーンなどのイベントに「かぼっち」が参加し ます。 ・運動会、夏まつり等の地域行事などの取組みに 対して、かぼっち着ぐるみの貸し出しを行います。 ・区役所2階の子育て応援コーナー「かぼっち広場」 にスペースを設け、季節ごとに様々な衣装の「コス プレかぼっち」を展示します。	継続	通年	実施	・広報なごや区版を始め、防犯、交通安全等の啓発チラシ等の配布物に「かぼっち」のイラ ストを使用 ・地域行事や区主催イベント等に「かぼっち」の着ぐるみを貸出(計3回) ・「かぼっち」を活用した区主催の行事、学区のイベント等を区フェイスブックにて随時紹介 (区ウェブサイトのほかSNS(フェイスブック、令和3年12月開設のインスタグラム)を通じて 区役所主催、共催行事等のPRや告知、啓発などの情報提供をタイムリーに実施。) ・新入学児童に対する反射材キーホルダーの配布 ・季節ごとに様々な衣装の「コスプレかぼっち」を展示

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
7. 天白区 の魅力を 発信しま す。	7-3 天 白区のPR 活動	企画経理 室	”ホッとするまち 「好きだよ、天 白。」”発信事業	・区のPRだけでなく、区への愛着を深めてもらうた め、区のキャッチフレーズ、かぼっち、古写真を用い た名刺を作成・配布します。	継続	通年	実施	・天白区マスコットキャラクター「かぼっち」を印刷したオリジナル名刺の使用について、4月 の区政協力委員長会議で案内し、区政協力委員長等の地域の役員の方で希望される方に 名刺を提供するとともに、区職員が使用 ・地域役員分(30人分、700枚作成) ・区職員分(2,050枚作成)
8、地域と 連携してま ちづくりを 進めます。	8-1 町 内会・自治 会加入促 進への支 援	地域力推 進室(推進 G)	転入者への情報 提供	・区役所に転入の手続きで来庁された方に対し、チ ラシ、リーフレットを配布して町内会活動の内容を周 知するとともに町内会の加入手続きを案内します。 ・町内会加入申込連絡ポスト「かぼっちポスト」を区 役所1階に設置し、提出された町内会加入申込連 絡票を町内会長等へすみやかに取り次ぎます。 ・区ウェブサイト、区役所庁舎内の行政情報モニ ター、広報なごや区版で町内会加入の啓発を行いま す。	継続	通年	取次件数 前年比増	・市作成のリーフレット及び区独自で作成したチラシを配付して町内会活動の内容を周知す るとともに、町内会の加入手続きを案内(通年) ・町内会加入申込連絡ポストや電子メールにて受け付けた町内会加入申込を町内会長へ 取り次ぎ(通年:21件)
8、地域と 連携してま ちづくりを 進めます。	8-1 町 内会・自治 会加入促 進への支 援	地域力推 進室(推進 G)	町内会加入促進 への支援	・区政協力委員長等による情報交換・意見交換会 を定期的に開催し、学区運営における困難事例の 共有を図り解決に向け知恵を出し合う機運を醸成し ます。 ・区政協力委員及び町内会長に対して、区で独自 に作成した町内会等加入促進チラシを配布します。 ・新規勧誘時に使用できる町内会加入案内の フォーマットを各町内会長に提供します。 ・住宅都市局の建築確認情報に基づき、新築の共 同住宅に関する情報を町内会へ提供します。 ・消防職員による戸別訪問等と連携し、区職員が町 内会活動のPRを行う取り組みをモデル的に実施し ます。	継続	通年	実施	・学区委員長による情報交換等は、新型コロナウイルス感染症のため中止 ・新築共同住宅の管理者や入居者に町内会加入の案内をすることができるよう、住宅都市 局の建築確認情報をもとにした新築の共同住宅に関する情報を町内会長へ提供(通年:計 7件) ・消防職員による個別訪問と連携し、町内会等加入促進チラシの配布を実施(4～6月)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
8、地域と 連携してま ちづくりを 進めます。	8-2 地 域活動・市 民活動へ の支援	地域力推 進室(企画 G)	区民まつり「まつり 天白2021」の開催	・区内の各種団体、企業、中・高・大学生と連携して 区民の誰もが楽しめる区民手づくりの「まつり」を開 催します。	継続	調整中	実施	・新型コロナウイルス感染症のため中止 ※実行委員会総会を书面開催 ・実行委員会の協力のもと、「区民まつりメモリアル写真集」(12月 11,000部発行)を作成 ※事前打合せの臨時役員会1回開催(7月)
8、地域と 連携してま ちづくりを 進めます。	8-2 地 域活動・市 民活動へ の支援	地域力推 進室(企画 G)	市民活動団体との 連携	・人権尊重、男女平等参画など様々な目的で活動 する市民団体と連携して催事を行うことで、区民が 天白区に愛着を持ち、さらに交流の輪を広げられる よう促します。 ○区内の伝統文化等を継承する団体と連携して催 事や魅力発信を行うことにより、区の特性に応じた 地域の活力向上を図ります。	拡充	随時	実施	・人権尊重のまちづくり事業「映画と講演のひととき」実施 映画「萌えの朱雀」、(講師)愛知県立大学名誉教授 日置 雅子 氏 (11月30日、天白文化小劇場、60名参加(新型コロナウイルス感染症のため定員制限)) ※「eコールてんぱく」委託事業 ・天白区男女平等参画推進事業 講演会「あそびの生まれる場所」実施 (令和4年1月22日、17名参加、講師: 西川 正 氏(特定非営利法人ハンズオン埼玉理 事)) ※新型コロナウイルス感染症のためオンライン開催に変更 ※「NPO法人てんぱくプレーパークの会」委託事業
8、地域と 連携してま ちづくりを 進めます。	8-2 地 域活動・市 民活動へ の支援	地域力推 進室(企画 G)	「天白区を住みよ くする会」の活動 支援	・各学区選出の代議員で構成された「天白区を住み よくする会」が行う各行政機関への要望行動を支援 します。	継続	随時	実施	・行政機関(2箇所)への要望行動の実施を支援 ※新型コロナウイルス感染症のため参加人数を最小限に制限 ・要望行動① 愛知県尾張建設事務所 要望事項「天白川の多目的川づくりの促進について」 (8月12日、愛知県尾張建設事務所 所長応接室、5名参加(要望先3名出席、公職者1名 同席)) ・要望行動② 名古屋市長政土木局 要望事項「緊急避難路としての弥富相生山線の道路開通と相生山緑地の防火対策、 散策路の整備について」 (8月16日、名古屋市役所西庁舎会議室、6名参加(要望先3名出席))

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
8、地域と連携してまちづくりを進めます。	8-3 地域の大学との連携・協力	企画経理室	区内大学との連携・協力	・区内に本部のある名城大学(平成26年12月18日締結)、東海学園大学(平成27年12月16日締結)及び豊田工業大学(平成30年6月21日締結)の各大学との協定に基づき、防災、福祉など多様な分野で地域の発展に寄与する事業を推進します。 ・大規模災害により区役所庁舎が被災した場合に豊田工業大学内の一部に設置する南部活動拠点に、通信機器の整備を行います。【再掲(施策1参照)】 ・令和3年度以降は、年に1回、災害支援活動を実効性のあるものにするために、南部活動拠点開設訓練等のシミュレーションを、豊田工業大学等と連携し実施します。【再掲(施策1参照)】 ・東海学園大学の学生がファシリテーターとなって行う「避難所運営ゲーム(HUG)」を主なメニューとして用意し、中学生と大学生が共に防災について学べる仕組みづくりを構築します。【再掲(施策1参照)】	継続	通年	区に取り組みに参加する学生ボランティアの人数80人以上	・学生ボランティア ・天白区地域福祉団体による子ども支援事業 学習支援ボランティア 28名登録 ・飲酒運転根絶サイン版キャンペーン 7名参加 ・平針中学校での中学生向け防災学習 5名参加
8、地域と連携してまちづくりを進めます。	8-3 地域の大学との連携・協力	総務課(選挙)	若年層向け選挙啓発	・学園祭などの大学行事の機会を利用し、学生に対し選挙啓発を行います。	継続	随時	実施	・東海学園大学の学園祭(10月31日)及び名城大学の学園祭(11月5日)での選挙啓発 ※新型コロナウイルス感染症のため、対面での啓発物品の配布を中止 ※代替として大学側に学園祭会場内での配架や来場者への配布を依頼 ・若者向け選挙啓発チラシを作成し、東海学園大学、名城大学及び豊田工業大学に学生への配布や学内での掲示・配架を依頼(9月) ・大学新入生向け選挙啓発チラシを作成し、東海学園大学、名城大学及び豊田工業大学に学生への配布や学内での掲示・配架を依頼(令和4年3月)
9、快適な生活環境づくりを進めます。	9-1 環境美化の推進	地域力推進室(推進G)	町を美しくする運動の実施	・「環境デーなごや2021」の地域行事として、地域住民・企業・学生ボランティア総ぐるみで、植田北学区において「天白区クリーンウォーキング」を開催します。 ・「空地をきれいにする運動」を展開し、学区による空地の実態調査に基づき、雑草や汚れが目立つ空地の所有者等に対して清掃依頼を行います。 ・天白川等の清掃を行う地域団体の活動を支援します。	継続	通年	実施	・「天白区クリーンウォーキング」は新型コロナウイルス感染症のため中止 ・「空地をきれいにする運動」として、全学区に雑草の繁茂等、管理が不適切な空地について照会を行い、地権者に対し清掃を依頼(6月～10月:学区からの報告55筆のうち地権者への文書送付件数42筆、未対応のうちの9筆について天白消防署へ情報提供を行い、消防法による指導の対象となる空地について指導を依頼(12月) ・違反広告物をなくす運動(植田西交差点～地下鉄塩釜口駅～名城大学)は、新型コロナウイルス感染症のため中止

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
9. 快適な 生活環境 づくりを進 めます。	9-1 環 境美化の 推進	地域力推 進室(推進 G)	学区開催の町を 美しくする運動へ の支援	・各学区にボランティア袋を配布し「地域一斉清掃」 の実施を呼びかけ、環境事業所や土木事務所と連 携して、公道のごみや側溝の土砂等の回収の調整 を行います。 ・学区クリーンキャンペーン、学区ノーポイ運動、放 置自転車をなくす運動など学区が実施する町美運 動が円滑に実施できるように支援します。	継続	通年	実施	・平針北学区クリーン活動に参加(秋(11月25日):職員3名参加、春(3月24日):職員3名参 加) ・地域一斉清掃は新型コロナウイルス感染症のため中止 ・学区ノーポイ運動などの地域活動が新型コロナウイルス感染症のため中止されたことに 伴い、職員は不参加
9. 快適な 生活環境 づくりを進 めます。	9-1 環 境美化の 推進	健康安全 課	ペットのマナー良 くし隊キャンペー ンの実施	・地域において、フン放置防止等、飼主に対して適 正飼養の啓発を行っている保健環境委員会と協働 し、キャンペーンを行います。	継続	11月	実施	・ペットのマナー良くし隊キャンペーンを実施(4か所) ・保健環境委員等延べ20名と協働して、犬の飼主に啓発資材を配布(延べ75セット)
9. 快適な 生活環境 づくりを進 めます。	9-1 環 境美化の 推進	健康安全 課	猫の飼主への啓 発	・猫の「完全室内飼養」と「所有者明示」を推進する ために、避妊去勢手術補助券、マイクロチップ装着 補助券の発行時に啓発資料を配布します。	継続	随時	実施	・飼い猫の避妊去勢手術補助券及びマイクロチップ装着補助券を交付(137件交付) ・交付の際、室内飼育と所有者明示の啓発を実施

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
9. 快適な 生活環境 づくりを進 めます。	9-1 環 境美化の 推進	健康安全 課	犬猫の迷惑防止 対策	・広報なごや等を活用し、犬猫の適切な飼養について啓発を行います。 ・犬猫のフン尿や鳴き声等に困っている方に対し、地域等の状況に応じて、啓発用ステッカー、看板等の提供、猫の忌避装置の貸出しを行います。 ・犬のフンでお困りの方に、イエローチョーク作戦(※)を紹介し、その取り組みを支援します。 ・のら猫の避妊去勢手術券を交付し、TNR活動(※)を支援します。 ・地域猫活動(※)を希望される方に、相談窓口である「名古屋市人とペットの共生サポートセンター」を紹介します。 ※イエローチョーク作戦：放置された犬のフンの周りを黄色のチョークで囲み、日時を書くことによって、放置した飼い主に、困っている人や迷惑をこうむっている人がいることを伝える方法。 ※TNR活動：のら猫を捕獲(Trap)し、避妊去勢手術を実施(Neuter)した後に元の場所に戻す(Return)活動。のら猫の頭数を抑制する人道的な方法として国内で広く行われているもの。 ※地域猫活動：TNR活動に加え、その猫が寿命を全うするまで周辺住民の十分な理解の下に、適切なエサやりやフン尿の片づけなどを行う活動。	継続	随時	実施	・広報なごやに犬猫の適切な飼養等について掲載(4月号、7月号、10月号) ・犬フン害防止の啓発ステッカー・看板等を提供(39件103枚) ・猫の苦情に対して、猫の忌避装置を貸し出し(8件) ・犬フン害防止のイエローチョーク作戦を支援(11件) ・のら猫の避妊去勢手術券を交付(282件)
9. 快適な 生活環境 づくりを進 めます。	9-1 環 境美化の 推進	地域力推 進室(推進 G)	空家の適切な管 理についての啓発	・広報なごや等で空家の適切な管理の方法について啓発を行います。	継続	通年	実施	・広報なごや区版で台風に備えた空家の適切な管理に関する広報啓発を実施(8月号)

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
9. 快適な 生活環境 づくりを進 めます。	9-1 環 境美化の 推進	地域力推 進室(推進 G)	空家等対策の実 施	・適切な管理が行われていない空家等への対策に 関して、区内関係公所(署)によるプロジェクトチ ーム会議を通じて緊密な連携・協力を図り、特に管理 が不適切な状態にある空家等(＝特定空家)の所 有者に対して指導等を実施します。	継続	通年	PT会議 4回開催	・所有者等による空家等の適切な管理を推進するため、「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び「名古屋市空家等対策の推進に関する条例」に基づき、現地確認を行い、所有者等への指導・助言を実施(通年:計38回) ・令和3年度末時点で特定空家0件 ・区内関係公署(所)による天白区空家等対策会議を1回(6月:書面開催)、プロジェクトチ ーム会議を3回(6月・9月・3月:書面開催、12月は議題ないため中止)開催し、対応を検討
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	1 新型コ ロナウイル スワクチン 接種	地域力推 進室(区ワ クチンチー ム)	新型コロナウイル スワクチン接種	・区役所講堂、保健センター、小学校体育館を会場 とする集団接種及び地域の医療機関における個別 接種等で、区民へのワクチン接種を実施します。	新規	5月～	—	・集団接種においては、第1、2回目接種として5月12日から10月31日まで区役所講堂・保健 センター小学校体育館で計74日、113会場で実施 ・第3回目接種として、令和4年1月29日から令和4年3月26日まで区役所講堂で計13日、13 会場で実施 ・個別接種としては、区内の診療機関で随時実施
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	2 区役所 庁舎等に おける感 染拡大防 止の取り 組み		庁舎管理における 感染拡大防止の 取り組み	・来庁された方が安心して気持ちよく庁舎を利用で きるよう、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に 次のように取り組みます。 (取組み)区役所入口、各窓口への消毒液の設置、 自動ドアをタッチ式から非接触式に変更すること による接触感染防止の取り組みの推進、窓口へのア クリル板設置による飛沫感染防止、サーキュレー ターも使用した適切な換気の実施	新規	通年	—	・区役所入口、各窓口への消毒液の設置 ・非接触式の自動ドアの導入 ・窓口へのアクリル板設置 ・サーキュレーターを使用した換気の実施

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	2 区役所 庁舎等に おける感 染拡大防 止の取り 組み	総務課 (庶務)	各窓口待合スペースでのソーシャル ディスタンスの確保	・間隔を空けてお座りいただくため、待合スペース のソファに張り紙を掲示します。	新規	通年	—	・各窓口の状況に応じて間隔を空けてお座りいただく工夫を実施
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	2 区役所 庁舎等に おける感 染拡大防 止の取り 組み	市民課	講堂を市民課待 合スペースとして 利用	・繁忙期の混雑緩和及び新型コロナウイルス感染 拡大防止を図るため、講堂にお客様臨時待合ス ペースを設置します。	新規	随時	—	・繁忙期には通常の待合スペースに加え、講堂にお客様臨時待合スペースを設置
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	2 区役所 庁舎等に おける感 染拡大防 止の取り 組み	市民課	待合スペースへの マイク・スピーカ ーの設置	・市民課待合スペースにおけるソーシャルディス タンスの確保のため窓口から離れたところで待機し 呼び出し音声が届きづらいお客様に対しても適切 に案内を行えるように、マイク及びスピーカーを設 置します。	新規	通年	—	・繁忙期には窓口から離れた講堂に待合スペースを設置するとともに、そこに待機している お客様に対しても適切に案内を行えるよう、マイク及びスピーカーを設置

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	2 区役所 庁舎等にお ける感染 拡大防 止の取 組み	各課	イベント、会議、講 座等における感染 拡大防止の取 組み	・入場時の検温、出入り口等への消毒液の設置、 手指消毒の呼びかけ、備品等のこまめな消毒、マ スク着用の徹底、密を避けるために定員を減らし実 施回数を増やすなどの感染拡大防止対策を講じま す。	新規	随時	—	・イベント、会議、講座等の開催にあたっては、入場時の検温、出入り口等への消毒液の設 置、手指消毒の呼びかけ、備品等のこまめな消毒、マスク着用の徹底、密を避けるために 定員を減らし実施回数を増やすなどの感染拡大防止対策を実施
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	2 区役所 庁舎等にお ける感染 拡大防 止の取 組み	総務課 (選挙)	投票所における感 染拡大防止の取 組み	・安心して投票を行っていただけるよう、消毒液の 設置、ビニールカーテンの設置、定期的な換気の実 施などにより、投票所内における新型コロナウイ ルス感染症拡大防止を図ります。	新規	随時	—	・名古屋市長選挙(4月)及び衆議院議員総選挙(10月)の投票所において新型コロナウイ ルス感染拡大防止策を実施
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	3 保健セ ンターにお ける新型コ ロナウイ ルス感染 拡大防 止の取 組み	健康安全 課 保健予防 課	新型コロナウイルス 感染拡大防止 の取組み	・発熱等の症状がある方からの受診に関する相 談、新型コロナウイルス感染症の症状、検査、感染 予防法、消毒方法といった相談に対応します。 ・疫学調査による濃厚接触者の抽出や濃厚接触者 に対して陰性・陽性の判定を行うPCR検査を行 います。 ・急変者に対する受診調整、濃厚接触者やPCR検 査陽性者に対する健康観察などを行います。	新規	随時	—	・PCRの検体を鼻咽頭ぬぐい液から唾液にシフト ・容体急変者には、主に名古屋記念病院及び日赤第二病院に受診調整

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	4 地域、 区民への 感染拡大 防止につ いての情 報提供	企画経理 室	「混雑ランプ」の運 用	・区役所ウェブサイトで、市民課窓口の混雑状況を 信号機を模して「青(空き)」「黄(やや混み)」「赤(混 雑)」の三段階で発信することにより、待合環境の 三密回避や市民サービスの向上を図ります。	新規	通年	—	・混雑ランプにより、市民課窓口の混雑状況を1時間ごとに発信
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	4 地域、 区民への 感染拡大 防止につ いての情 報提供	地域力推 進室(企画 G)	区のマスコットキャ ラクターによる新し い生活様式の啓 発動画配信	・各区のマスコットキャラクターによる「新しい生活様 式」PR動画を区ホームページに継続して掲載しま す。	新規	通年	—	・区ホームページのトップページにバナーを掲出し、各区のマスコットキャラクターによる「新 しい生活様式」PR動画を継続して掲載
新型コロナ ウイルス感 染症への 対応につ いて	4 地域、 区民への 感染拡大 防止につ いての情 報提供	総務課 (防災)	新型コロナウイルス 感染症に対応し た地域主体の災 害対策の支援	・各地域における総合的な防災訓練、避難所開設・ 運営訓練、避難所運営等に係る学習会などを実施 する中で、コロナ禍における感染症対策等の要素 を取り入れると共に、必要なアドバイスを行うこと で、地域防災力強化の取組みを支援します。【再掲 (施策1参照)】	新規	通年	—	・天白学区(10月10日) ・高坂学区・相生学区(10月24日) ・大坪学区(令和4年1月16日) ・野並学区(令和4年2月27日) ※新型コロナウイルス感染症のため、複数学区において中止

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
施策の推 進にあたっ て	1 区民に 信頼される 区役所づく り	総務課 (庶務)	来庁者の満足度 の向上	・窓口対応力や接遇の向上、業務改善を推進するため、所属内研修や外部講師による研修を実施し、職員のスキルアップや情報交換を図ります。 ・来庁された方が安心して気持ちよく庁舎を利用できるよう、適正な庁舎管理に努めます。 ・原則毎月25日に職員による区役所周辺の清掃活動「ようこそ名古屋クリーンアップキャンペーン」を行います。	継続	通年	窓口アン ケートにお ける満足 度 :100%	<窓口アンケート(令和3年11月実施)における満足度> 97.3% ・職員を対象に外部講師による接遇研修を実施(11月) ・区役所庁舎内に消毒液、検温機及びアクリル板等を設置するほか、カウンターの消毒等 を呼びかける庁内放送を実施 ・クリーンアップキャンペーンを実施(4～9月、1～2月は新型コロナウイルス感染症のため 中止)
施策の推 進にあたっ て	1 区民に 信頼される 区役所づく り	総務課 (地域力推 進室・市民 課・保険年 金課)	留学生ワンストップ 窓口・安心ガイ ダンスの実施	・大学と連携し事前準備を行うことにより、留学生に必要な手続きをワンストップで実施します。 ・ワンストップ窓口の待ち時間を活用し、日本の交通ルールを始めとした安心して生活するための情報提供を行います。	継続	9月 3月	実施	・大学からの依頼がなかったため、実施せず
施策の推 進にあたっ て	1 区民に 信頼される 区役所づく り	企画経理 室	区の独自財源の 確保	・自動販売機の設置、広告の掲出等により区独自財源を確保し、区役所庁舎の環境改善等、市民サービスの向上のために活用します。	継続	通年	実施	・行政情報モニターや自動販売機設置などの取組みにより、令和3年度においては750万円 余の財源を確保

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
施策の推 進にあたっ て	2 区民 ニーズや 地域課題 の把握	企画経理 室	天白区区民会議 の開催	・地域の課題や区の特性について協議し、区の将 来の方向性に関して意見を聴取するため天白区区 民会議を開催します。	継続	5月 2月	実施	・新型コロナウイルス感染症のため、総会(5月、1月)は書面での開催とし、「天白区将来ビ ジョン」「天白区区政運営方針」「区の特性に応じたまちづくり事業」についてご意見を聴取 ・区民会議分科会をワークショップ形式で開催(12月)し、「天白区の課題」「めざすべきまち の姿」について議論
施策の推 進にあたっ て	2 区民 ニーズや 地域課題 の把握	企画経理 室	区民アンケートの 実施	・優先して取り組むべき事業や区の課題、意識等につ いて、区民を対象にアンケートを実施し、区政運 営に活かします。(対象者:無作為抽出による18歳 以上の男女1,500人)	継続	7月	実施	・無作為抽出の18歳以上の区民1,500名を対象に7月にアンケートを実施(639名回答、回答 率42.6%)
施策の推 進にあたっ て	2 区民 ニーズや 地域課題 の把握	地域力推 進室(推進 G)	学区担当制の実 施	・担当者が学区の会議や行事に参加して地域との コミュニケーションを密にし、地域課題やニーズの 把握に努めるとともに、必要な支援を行います。	継続	通年	実施	・部課長級職員と地域力推進室を始めとする各課職員が2名ずつ各学区の担当となり(17 学区34名)、学区連絡協議会等の会議、交通安全活動に参加して地域の課題やニーズ等 の情報収集 ・新型コロナウイルス感染症のため、書面開催など学区の会議自体が減少

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
施策の推 進にあたっ て	2 区民 ニーズや 地域課題 の把握	総務課 (庶務)	来庁者の皆さんの ご意見・ご提案の 活用	・「明日への提案箱」や窓口アンケートにより、来庁者の皆さんからのご意見・ご提案をより良い区役所づくりに活かします。	継続	通年	窓口アン ケートにお ける満足 度 :100%	＜窓口アンケート(令和3年11月実施)における満足度＞ 97.3% ・明日への提案箱 24件
施策の推 進にあたっ て	3 区政に 関する広 報・情報提 供	地域力推 進室(企画 G)	広報なごや区版の 発行	・区民のニーズや関心に沿った読みやすい紙面を作成します。 ・紙面に掲載しきれない情報は区ウェブサイト等による発信で補完するなど、丁寧な情報提供に努めます。 ○令和3年5月号から最終ページを区版トップページとなるよう紙面の構成が変更されたため、区で特に告知、啓発が必要な事項について、より効果的で分かり易い特集記事を編集します。	拡充	通年 5月	「行政の情 報が必要 な人に分 かりやす く提供さ れている 」と感じ ている区 民の割合 :39%	＜区民アンケート(令和3年7月実施)結果＞ ・「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と感じている区民の割合:45.1% ・令和3年5月号から最終16面を区版トップページに変更
施策の推 進にあたっ て	3 区政に 関する広 報・情報提 供	地域力推 進室(企画 G)	その他媒体による 情報提供	○区ウェブサイト、フェイスブック、ピアッツァ(※)を通じて区役所主催、共催行事等のPRや告知、啓発などの情報提供をタイムリーに行います。 ・市政記者クラブ加盟社・地域コミュニティ紙等へ区発信の情報を積極的に提供します。 ※ピアッツァ:地域密着型のコミュニケーション促進アプリ。本市では、令和2年10月に運営会社と協定を締結し、名古屋市エリア(5エリア)を開設。先行する他都市では主に子育て世代が利用	拡充	随時	「行政の情 報が必要 な人に分 かりやす く提供さ れている 」と感じ ている区 民の割合 :39%	＜区民アンケート(令和3年7月実施)結果＞ ・「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と感じている区民の割合:45.1% ・区ウェブサイトのほかSNS(フェイスブック、Instagram(12月開設))を通じて区役所主催、共催行事等のPRや告知、啓発などの情報提供をタイムリーに実施

ビジョンの 施策	施策の柱	部署	事業名	説明	新規・拡 充・継続の 別	実施時期	令和3年度 目標	令和3年度実績
施策の推 進にあつ て	3 区政に 関する広 報・情報提 供	企画経理 室	行政情報モニター の設置	・行政情報モニター3台を区役所内1階待合スペースに設置し、区政情報やイベント情報等をわかりやすく提供します。	継続	通年	実施	・行政情報モニター3台を区役所1階の待合スペースに設置し、区政情報やイベント等について、情報を発信(延べ119件)